

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年7月26日 (2018.7.26)

【公開番号】特開2016-206653(P2016-206653A)
 【公開日】平成28年12月8日 (2016.12.8)
 【年通号数】公開・登録公報2016-067
 【出願番号】特願2016-43467(P2016-43467)
 【国際特許分類】

G 0 2 B 26/10 (2006.01)

G 0 1 J 3/18 (2006.01)

G 0 1 J 3/06 (2006.01)

G 1 1 B 7/09 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 26/10 1 0 6

G 0 1 J 3/18

G 0 1 J 3/06

G 1 1 B 7/09 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年6月11日 (2018.6.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学素子に取り付けられる載置面を有するホルダと、
 前記ホルダが収容される固定部と、
 前記ホルダ及び前記固定部に分離して設けられるボイスコイルモーターを有し、前記ホルダを、前記載置面と平行する一の回転軸を中心に回転させる駆動部と、
 前記固定部に固定される第一部分と、前記ホルダに固定される第二部分と、前記第一部分と前記第二部分とを接続する第三部分と、を有し、前記第三部分は、前記ホルダを前記一の回転軸を中心とする回転方向に回転自在とするとともに前記ホルダを前記回転方向の中立位置へ付勢する、弾性を有する、弾性部材と、
 を具備する 1 軸回転アクチュエーター。

【請求項 2】

前記固定部の底部に配置されるベースをさらに有し、
 前記ボイスコイルモーターは、前記ベースと前記載置面との間に配置される、
 請求項 1 に記載の 1 軸回転アクチュエーター。

【請求項 3】

前記固定部は、前記ホルダが配置される中空部分を有し、
 前記弾性部材は、各々が前記第一部分、前記第二部分及び前記第三部分を有し、互いに前記中空部分を挟んで対向するよう配置された、第一弾性部材及び第二弾性部材を含む、
 請求項 1 または請求項 2 に記載の 1 軸回転アクチュエーター。

【請求項 4】

前記固定部は、前記ホルダが配置される中空部分と、前記中空部分を囲む縁部と、を有し、
 前記弾性部材は、前記中空部分の両側で前記縁部に取り付けられた板バネである、

請求項 1 から請求項 3 のいずれか一項に記載の 1 軸回転アクチュエーター。

【請求項 5】

前記光学素子は、入射する光を入射方向とは別の方向へ向けて反射する反射面を有する

、

請求項 1 から請求項 4 のいずれか一項に記載の 1 軸回転アクチュエーター。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の 1 軸回転アクチュエーターの一つの態様は、

光学素子を取り付けられる載置面を有するホルダと、

前記ホルダが収容される固定部と、

前記ホルダ及び前記固定部に分離して設けられるボイスコイルモーターを有し、前記ホルダを、前記載置面と平行する一の回転軸を中心に回転させる駆動部と、

前記固定部に固定される第一部分と、前記ホルダに固定される第二部分と、前記第一部分と前記第二部分とを接続する第三部分と、を有し、前記第三部分は、前記ホルダを前記一の回転軸を中心とする回転方向に回転自在とするとともに前記ホルダを前記回転方向の中立位置へ付勢する、弾性を有する、弾性部材と、

を具備する。